

祥しょう

雲うん

閣かく

たより vol.37



夏の風景



七月と言えばやはり七夕。七夕に短冊を飾ることから七月を文月と呼ぶようになったとも言われ短冊や吹き流しなど色とりどりの七夕飾りが風に揺れている様子に夏の到来を感じます。暦の上でも二十四節気の「小暑」(7月7日頃)は梅雨が明けて本格的な暑さが始まる時期とされます。



祥雲閣ではテーブルと椅子を設置した立礼茶室にて日曜日から金曜日は抹茶、土曜日は煎茶と季節の和菓子をお出ししています。



カレンダー

※は休館日、○煎茶提供日です(変更する場合があります)

7月							8月							9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	②		1	2	3	4	5	⑥					1	2	③
3	4	5	6	7	8	⑨	7	8	9	10	11	12	⑬	4	5	6	7	8	9	⑩
10	11	12	13	14	15	⑬	14	15	16	17	18	19	⑳	11	12	13	14	15	16	⑰
17	18	19	20	21	22	㉓	21	22	23	24	25	26	㉗	18	19	20	21	22	23	㉔
24	25	26	27	28	29	㉟	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	
31																				

◆◇◆祥雲閣のご案内◆◇◆

庭園を眺めながら500円でお茶とお菓子を気軽に味わえます。

(10時~16時まで)

茶道をはじめ、箏・謡・舞踊などの発表会やお稽古にご利用いただけます。貸館をご希望の方は、祥雲閣へお問い合わせ下さい。



◆所在地 大崎市古川福沼一丁目2番2号

◆電話 0229-24-3385

◆交通 JR古川駅から徒歩約20分
東北自動車道古川ICより車で約10分

◆駐車場 有

◆休館日 月曜日

(月曜が祝日の場合は翌日)

◆入館料 無料

大崎市祥雲閣

令和4年6月24日発行

〒989-6105

宮城県大崎市古川福沼一丁目2番2号

TEL・FAX 0229-24-3385

「女性のための

初めてのゆかた着付け講座」

～自分でゆかたを着て出かけよう!～

日本の伝統衣料である和服の中でも「ゆかた」は夏の時期にお祭りや花火大会などで着る身近なものとして定着してきましたが「自分で着てみたいけれど、なかなかひとりで着られない。」「時間がたつと着崩れしてしまう。」「普段着物を着ないのでハードルが高い。」と思われる方も多いのではないのでしょうか。

そこで知っておきたい基本や正しい着付けについて、体験講座を開催します。体験後は庭園散策をしたり、写真撮影もできます。上品で一目置かれるゆかたの知識を学んで“日本の美と心”を感じてみましょう。

日 時 令和4年7月30日(土) 9時30分～11時30分

講 師 ギャラリー&カフェ びいひろ 千葉裕子氏

場 所 祥雲閣 和室

受講料 無 料

受講者 8人(中学生以上の女性限定) ※定員になり次第申込終了

内 容 ①ゆかたの基礎知識について

②気軽に着るゆかたの着付け

③いろいろな帯の結び方

④ゆかたの畳み方

申 込 7月1日(金)から電話で受付

大崎市民会館 22-2649

大崎市祥雲閣 24-3385 (月曜休館)

持ち物

- ・ゆかた
- ・半幅帯・・・幅が15～17センチの細い帯
- ・帯 板・・・帯の前にしわが寄らないように挟む小物
- ・浴衣用下着
白のタンクトップでも可
- ・腰紐(2本)・・・着物を着る際に着くずれしないように腰に結ぶ
幅の狭い紐
- ・伊達締め・・・衿合わせがずれないようにとめる幅広の紐
なくても可
- ・補正用のタオル1枚(フェイスタオル)
- ・下駄
- ・撮影用のカメラ
スマホでも可

※ゆかたを着たままお帰り頂くこともできます。

※立礼茶室でお茶と季節の和菓子をお出しできます。ご希望の方は受付にお申し出ください。(呈茶代500円)

○検温、マスク着用、手指消毒等感染対策にご協力下さい。

○新型コロナウイルス感染症の状況により中止になる
場合もありますのでご了承下さい。

